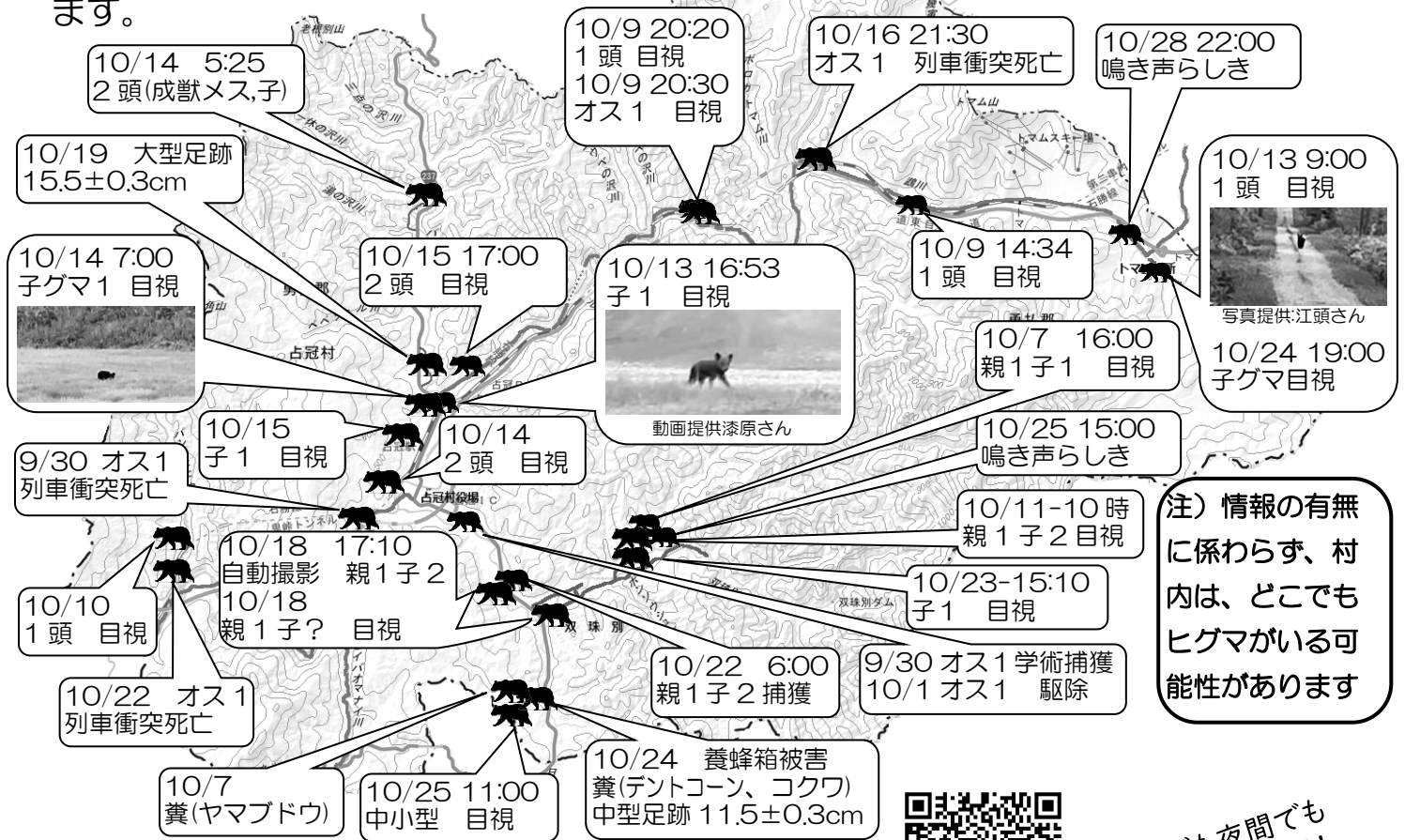


ヒグマについてのお知らせ

令和7年11月 広報おりこみ

10月は目撃件数が前月より増え、平年の10月値と比べても多くなりました。件数だけを見れば、今期と同じくミズナラが不作だった令和5年や平成29年の秋とよく似た動向です。情報の中身を見ていくと、列車との衝突が多いのは共通の事項ですが、今期はクルマ採食絡みの件数が少なく、家畜被害はまだなく、市街地における発生も令和5年より少なくなっています。(裏面参照)。

こうした変化が生じる理由はわかりませんが、食べ物の欠乏による影響という点では、11月以降も改善は期待できず、しばらくは落ち着かない状況が続くと予想されます。



ヒグマ情報マップは村ホームページにも掲載しています
<http://www.vill.shimukappu.lg.jp/shimukappu/section/nourin/ringyou/nmudtq000002reii.html>



休日でも夜間でも
かまわず掛けて!!

次のような状況はすぐに対策が必要です。

- ★ 住宅や事業所等、人の生活する場所に現れた。
- ★ 道路上や道路脇、農地に居座っている。
- ★ 人に気付いても逃げない。
- ★ 人に近づく素振りを見せる。あとを付けてきた。
- ★ 持ち物を奪われた。
- ★ 農作物や生ゴミなど、人工物を食べている。
- ★ 人や家畜、ペットが襲われた。
- ★ ヒグマが車と衝突、けがをして道路周辺にいる。

すぐにお知らせください。

状況に応じ、注意喚起や立入制限、追い払いや捕獲等の対処をします。

占冠村役場 農林課
 林業振興室 野生鳥獣担当
 ☎0167-56-2174
 占冠 駐在所
 ☎0167-56-2110

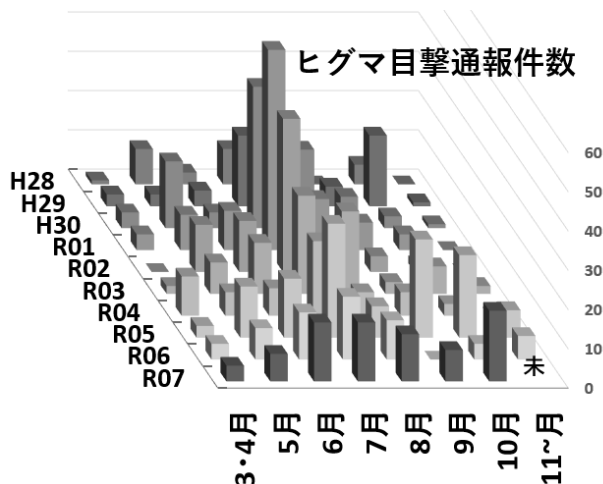
次のような状況では、静観できると考えられます。

- 山間部で道路の横断を目撃した。痕跡があった。
- 山林内でヒグマの痕跡を見た。
- 山林内でヒグマを目撃した。ヒグマは立ち去った。

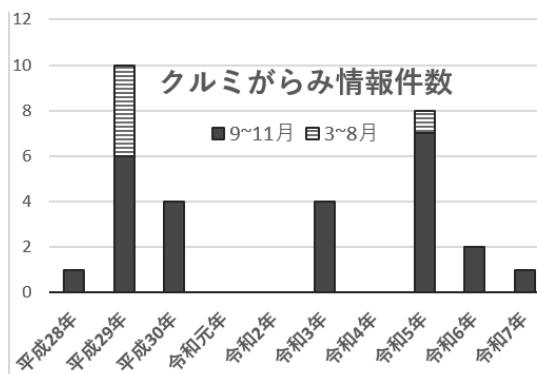
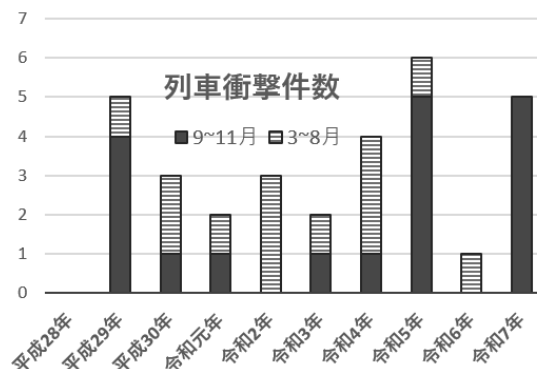
役場林業振興室に情報をお寄せください。生息状況の基礎データとして集積し、対策に活かしてまいります。



よろしくお願い致します。占冠村役場 農林課 林業振興室 電話0167-56-2174



今年（令和 7 年）と令和 5 年と平成 29 年はミズナラ不作年で、いずれも 10 月期の目撃通報件数が高くなっています。列車衝撃（衝突）件数もこれら 3 つの年が突出しています。クルミは今年のみが低くなっています。



エサ不足の秋はどうして危ない？

ヒグマたちは普段、できるだけ効率的に移動しながら食べ物を得ていると思われます。手近に十分な食べ物があれば、比較的狭く、また安全な場所で過ごすことができるでしょう。一方、食べるものが足りなければ、ヒグマたちは普段より多様な場所で多様な食べ物を探し求めることになり、結果として私たちの生活空間や、私たちの食べ物、食品ゴミにもアプローチしてくることになります。従って、これまでヒグマが来なかった場所、手を付けなかった物も、決して安心はできません。一度でもヒグマにエサ場として利用されると、人身への危険も格段に高まります。皆さんのお宅の周りは大丈夫でしょうか？干物や漬物、犬猫のエサ、生ごみ、コンポストはヒグマに触れられないよう管理しましょう。



もうひとつ考えられる危険要素は、ヒグマの機嫌です。差し迫るひもじさ、餓死の不安のためか、クマたちが例年より怒りっぽく、攻撃的にふるまうことが危惧されます。本州のツキノワグマで頻発する突発的な対人攻撃は、おそらくそうした気分が高じてパニックに近い形で起きているのではないのでしょうか。村内では今のところヒグマのあからさまな不機嫌はくみ取れていませんが、山野での遭遇回避にはいっそう気をつけたいものです。

